

1 概況

総合指数は平成22年を100として99.6となり、前年比は0.1%の下落となった。

生鮮食品を除く総合指数は99.5となり、前年比は0.1%の下落となった。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は98.6となり、前年比は0.4%の下落となった。

1-1 近年の総合指数の動き

和歌山市の年平均総合指数は、平成10年をピークに平成11年から平成17年まで7年連続で下落となり、平成18年から平成20年までは3年連続で上昇となったものの、平成21以降は連続して下落傾向となっている。

平成15年は、生鮮食品、被服及び履物などの値下がりにより0.6%の下落となった。平成16年は、家庭用耐久財、教養娯楽用耐久財などの値下がりにより0.2%の下落となった。平成17年は、灯油価格が大幅に値上がりしたが、引き続き家庭用耐久財、教養娯楽用耐久財などが値下がりしたことにより0.5%の下落となった。

平成18年は、引き続き灯油価格の大幅な値上がりや、7月のたばこ税の税率引上げに伴う諸雑費の値上がりなどにより0.3%の上昇に転じた。平成19年は、果物の大幅な値上がりに加え、魚介類や調理食品の値上がりにより0.6%の上昇となった。平成20年は、灯油などエネルギーの大幅な値上がりや、穀類、油脂・調味料、菓子類などの値上がりにより1.7%の上昇となった。

平成21年は、灯油価格が大幅に値下がりしたほか、ガソリン、教養娯楽用耐久財が値下がりしたことにより0.6%の下落に転じた。平成22年は、10月のたばこ税の税率引上げなどに伴い諸雑費が上昇した一方で、4月から的高校授業料無償化の影響による教育の大幅な下落に加え、教養娯楽用耐久財や家庭用耐久財などが下落したことにより0.2%の下落となった。平成23年は、ガソリン、灯油価格は値上がりしたものの、教養娯楽用耐久財の大幅な値下がりや、家庭用耐久財の値下がりにより0.4%の下落となった。

平成24年は、ガソリンに加え、電気代、ガス代が値上がりしたものの、引き続き液晶テレビなど教養娯楽用耐久財の大幅な値下がりや、穀類など食料の値下がりにより、総合指数は0.1%の下落となった。

図1 和歌山市消費者物価指数と前年比の推移

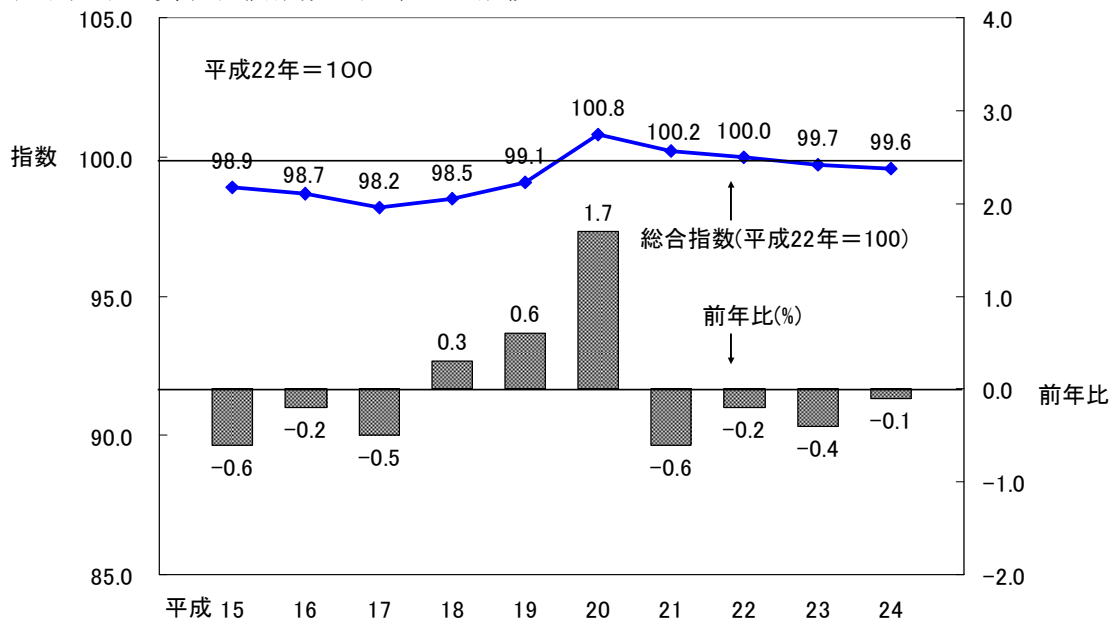


表1 和歌山市消費者物価指数と前年比の推移

年	総合指数 (平成22年=100)	前年比 (%)
平成15平均	98.9	-0.6
16	98.7	-0.2
17	98.2	-0.5
18	98.5	0.3
19	99.1	0.6
20	100.8	1.7
21	100.2	-0.6
22	100.0	-0.2
23	99.7	-0.4
24	99.6	-0.1

表2 平成24年の主な項目の変化率

項目	前年比 (%)
総合	-0.1
生鮮食品を除く総合	-0.1
持家の帰属家賃を除く総合	-0.2
持家の帰属家賃及び生鮮食品を除く総合	-0.2
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	-0.4

註) 前年比は各基準年の公表値による。(以下同じ)

図2 総合指数の月別の動き

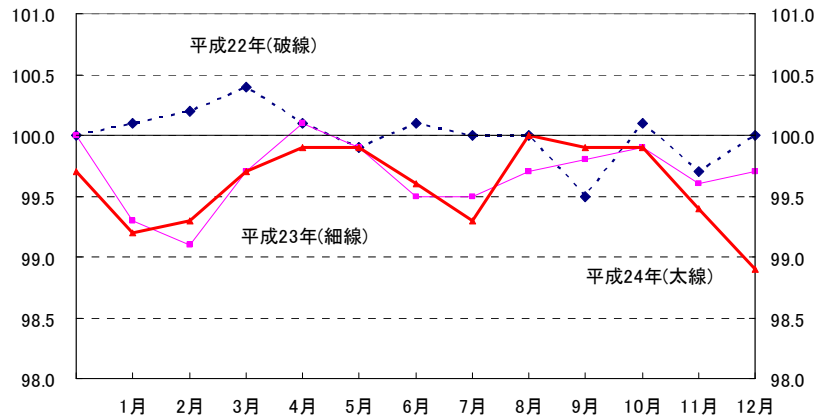


図3 生鮮食品を除く総合指数の月別の動き

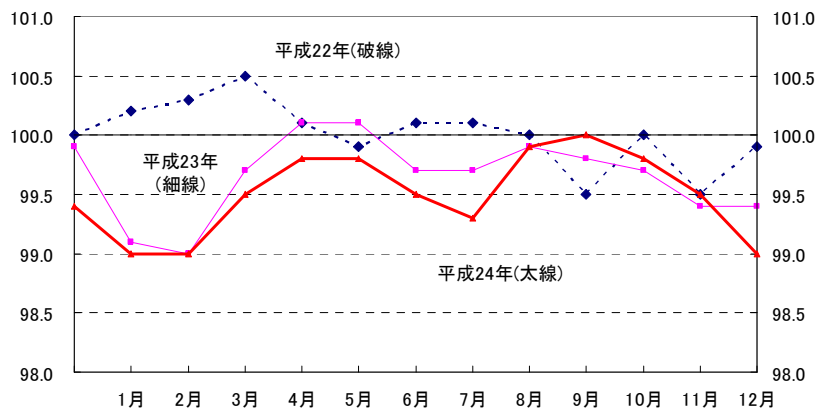
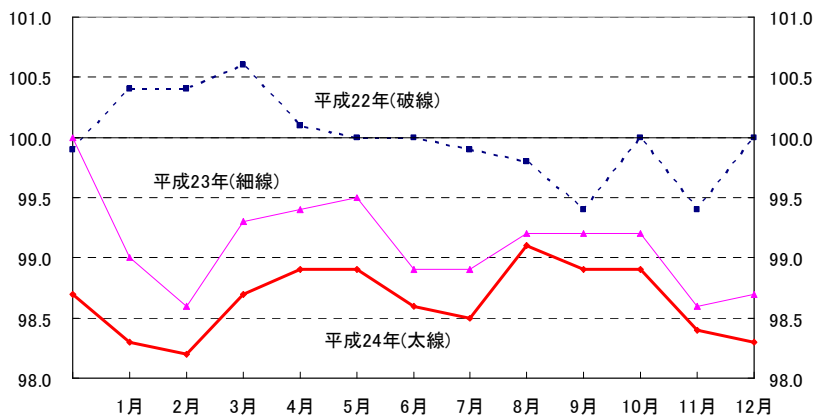


図4 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の月別の動き



1-2 10大費目指数の動き

平成24年の10大費目指数の動きを前年比で見ると、上昇したものが4費目、下落したものが6費目であった。

下落幅が最大となったのは**家具・家事用品**で、2.5%下落した。ついで、**教養娯楽**が1.7%、**食料、保健医療及び諸雑費**がそれぞれ0.4%、**被服及び履物**が0.1%の下落となった。

一方、上昇した費目をみると、**光熱・水道**が3.2%、**住居**が0.4%、**交通・通信**が0.2%、**教育**が0.1%の上昇となった。

10大費目の動きを平成24年総合指数の前年比に対する寄与度で見ると、光熱・水道が0.23と上昇に最も大きく寄与しており、ついで住居の0.09となっている。一方で、下落に最も大きく寄与しているのは教養娯楽の-0.20となっており、ついで食料、家事・家具用品の順に下落に寄与している。

図5 10大費目の前年比

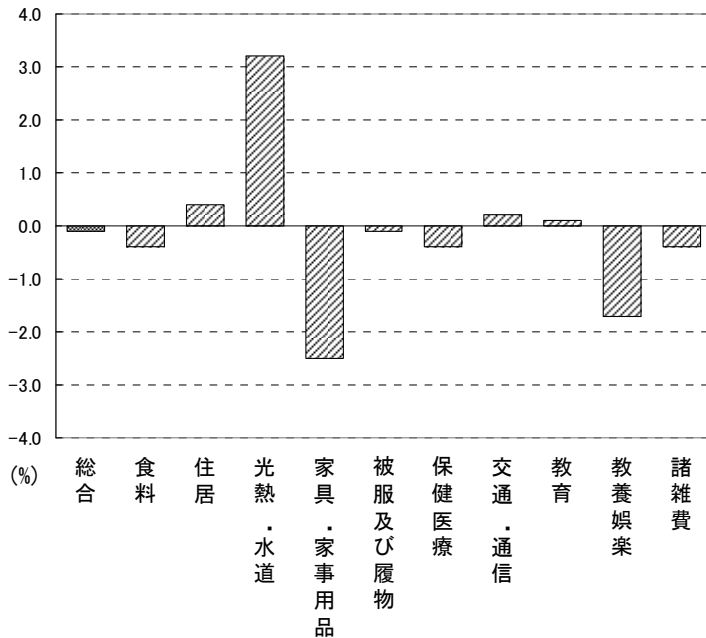


表3 10大費目の前年比及び寄与度

	前年比	寄与度
総合	-0.1	-0.10
食料	-0.4	-0.11
住居	0.4	0.09
光熱・水道	3.2	0.23
家具・家事用品	-2.5	-0.08
被服及び履物	-0.1	0.00
保健医療	-0.4	-0.02
交通・通信	0.2	0.02
教育	0.1	0.00
教養娯楽	-1.7	-0.20
諸雑費	-0.4	-0.02

図6 10大費目の寄与度

